平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名　株式会社 コンセック　　上場取引所　大
コード番号　9895　URL　http://www.consec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 佐々木　秀隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 寺本　泰之　TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,267	13.0	△29	―	△10	―	△106	―
24年3月期第2四半期	3,777	△4.3	△221	―	△217	―	△333	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△87百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△354百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△5.83	―
24年3月期第2四半期	△18.22	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	10,553	6,559	60.8	351.69
24年3月期	10,607	6,616	61.4	356.84

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　6,419百万円　24年3月期　6,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	9.6	65	―	97	―	42	―	2.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	18,640,112 株	24年3月期	18,640,112 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	387,422 株	24年3月期	387,022 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	18,252,989 株	24年3月期2Q	18,254,218 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は〔添付資料〕2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災復興関連需要や増加傾向の設備投資等に支えられ緩やかな景気回復基調が続きました。しかし、継続する円高傾向に加えて、欧州の債務危機問題とアジア新興国の景気減速などの影響で、不確実性が増しております。

土木建設業界におきましては、当社グループが関連するインフラ整備および建物に対する防災関連の投資等が引続き堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループは顧客が希望する特徴のある機器や機材の販売、また安全且つ効率的な工法提案に基づき各種工事案件を受注するなど、事業分野で濃淡が見られるものの、概ね業績改善に向かいつつあります。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は42億67百万円（前年同期比13.0％増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に加えて販売費及び一般管理費が削減された為に、営業損失は29百万円（前年同期は営業損失２億21百万円）まで改善されました。また経常損失は10百万円（前年同期は経常損失２億17百万円）となり、四半期純損失は、特別損失として投資有価証券評価損57百万円等を計上したことにより、１億６百万円（前年同期は四半期純損失３億33百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（セグメント間の売上高は含めておりません。）

（切削機具事業）

全般的に順調な中で、特にインフラ整備向けの切削機具及び消耗品等の売上と地震防災のための消散弁の売上が堅調に推移し、売上高は14億円（前年同期比 8.2％増）、セグメント利益（営業利益）は95百万円（前年同期は営業利益15百万円）と順調に推移しました。

（特殊工事事業）

夏季に集中する傾向のある学校耐震補強工事を中心に受注に尽力した結果、売上が大きく増加し、売上高は７億23百万円（前年同期比33.9％増）となり、セグメント利益（営業利益）は７百万円（前年同期は営業損失６百万円）と順調に推移しました。

（建設・生活関連品事業）

企業業績の改善傾向に伴う民間設備投資の緩やかな増加と住宅のリフォーム需要も影響して、売上高は15億２百万円（前年同期比14.1％増）、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同期は営業損失22百万円）と順調に推移しました。

（工場設備関連事業）

既存の主要顧客を中心に受注案件が継続し、売上高は２億49百万円（前年同期比10.7％増）、セグメント利益（営業利益）は７百万円（前年同期は営業損失15百万円）と順調に推移しました。

（介護事業）

高齢者専用賃貸住宅の稼働率の伸び悩みに加えて、本年４月の介護保険法改訂で主にデイサービスの介護報酬単価の低下により、売上高は２億21百万円（前年同期比 7.1％減）、セグメント損失（営業損失）は29百万円（前年同期は営業損失25百万円）となりました。

（ＩＴ関連事業）

新規の大型ソフト受託開発案件が順調に進捗しており、売上高は１億72百万円（前年同期比 5.1％増）、セグメント利益（営業利益）は14百万円（前年同期は営業損失10百万円）と順調に推移しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から55百万円減少し105億53百万円となりました。流動資産は、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加47百万円、たな卸資産の増加41百万円、現金及び預金の減少１億47百万円などにより49百万円減少し44億40百万円となりました。固定資産は、大きな変動は無く６百万円減少し61億13百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加54百万円などにより80百万円増加し30億56百万円となりました。固定負債は、返済に伴う長期借入金の減少75百万円などにより78百万円減少し９億38百万円となりました。なお、長期・短期借入金は71百万円減少し15億39百万円となりました。株主資本は、第２四半期純損失１億６百万円などにより１億６百万円減少し65億64百万円、その他の包括利益累計額は12百万円増加し△１億44百万円、少数株主持分は38百万円増加し１億40百万円となり純資産は56百万円減少し65億59百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境は、回復基調から転じて踊り場局面を迎えつつある日本経済の影響下で推移するものと予想されますが、当社グループは、一層の効率化を図り業績予測達成に努力してまいります。

当期の見通しにつきましては平成24年11月２日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、定率法（建物を除く）を採用し、在外連結子会社は定額法を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても定額法に変更しました。

この変更は、当連結会計年度に新設した在外連結製造子会社「南通康賽克半導体工具有限公司」（中国江蘇省南通市）の本格的な工場稼動など、当社グループのグローバル展開が進展する中で、国内生産拠点から海外生産拠点への移行が明らかとなり、その重要性が高まってきたことを契機として、国内グループ会社の有形固定資産の使用状況を検討した結果、国内においては多種少量の特殊品を安定的に生産することとなるため、定額法による減価償却の方法を採用することにより、当社グループの経済的便益の消費パターンを適切に反映させることができると判断したことから行ったものであります。

この変更により、従来の方法と比べて、当第２四半期連結累計期間の減価償却費は7,446千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ7,446千円減少しております。

なお、セグメント情報等に与える影響は、当該箇所に記載しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,069,887	923,090
受取手形及び売掛金	2,255,666	2,302,344
有価証券	3,613	－
商品及び製品	796,363	802,812
仕掛品	35,077	67,550
原材料及び貯蔵品	199,467	201,190
繰延税金資産	8,972	4,219
その他	127,132	145,557
貸倒引当金	△7,469	△7,008
流動資産合計	4,488,708	4,439,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,924,315	3,915,733
減価償却累計額	△2,386,094	△2,413,028
建物及び構築物（純額）	1,538,221	1,502,705
土地	3,760,476	3,760,476
その他	1,060,373	1,106,448
減価償却累計額	△976,646	△969,923
その他（純額）	83,727	136,525
有形固定資産合計	5,382,424	5,399,705
無形固定資産		
のれん	13,439	11,519
その他	47,248	41,607
無形固定資産合計	60,687	53,126
投資その他の資産		
投資有価証券	399,651	382,368
繰延税金資産	5,986	6,793
その他	336,580	336,712
貸倒引当金	△66,602	△65,640
投資その他の資産合計	675,614	660,233
固定資産合計	6,118,725	6,113,064
資産合計	10,607,433	10,552,818

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,700,014	1,753,964
短期借入金	995,987	1,000,256
未払法人税等	43,809	27,109
賞与引当金	58,841	59,144
完成工事補償引当金	254	236
その他	176,707	215,097
流動負債合計	2,975,612	3,055,806
固定負債		
長期借入金	614,126	538,884
退職給付引当金	324,343	321,360
役員退職慰労引当金	26,961	28,982
その他	50,697	48,450
固定負債合計	1,016,127	937,677
負債合計	3,991,739	3,993,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	3,013,064	2,711,745
利益剰余金	△378,159	△183,292
自己株式	△54,962	△55,003
株主資本合計	6,670,212	6,563,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△138,007	△124,938
為替換算調整勘定	△18,788	△19,528
その他の包括利益累計額合計	△156,795	△144,466
少数株主持分	102,277	140,079
純資産合計	6,615,694	6,559,335
負債純資産合計	10,607,433	10,552,818

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	3,776,819	4,267,312
売上原価	3,002,664	3,339,270
売上総利益	774,155	928,042
販売費及び一般管理費	995,342	957,036
営業損失（△）	△221,187	△28,994
営業外収益		
受取利息	1,623	2,273
受取配当金	4,658	5,723
受取手数料	5,311	4,545
受取家賃	8,257	7,897
為替差益	－	6,729
その他	7,081	7,138
営業外収益合計	26,929	34,304
営業外費用		
支払利息	8,186	7,461
有価証券運用損	12,299	－
開業費償却	－	5,460
その他	2,270	2,545
営業外費用合計	22,754	15,466
経常損失（△）	△217,013	△10,155
特別利益		
固定資産売却益	－	22
投資有価証券売却益	－	7
役員退職慰労引当金戻入額	547	－
特別利益合計	547	30
特別損失		
固定資産除却損	503	10,766
投資有価証券売却損	464	－
投資有価証券評価損	－	56,720
特別損失合計	967	67,486
税金等調整前四半期純損失（△）	△217,433	△77,611
法人税、住民税及び事業税	18,016	17,730
法人税等調整額	94,071	4,018
法人税等合計	112,087	21,748
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△329,520	△99,359
少数株主利益	3,126	7,091
四半期純損失（△）	△332,646	△106,450

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△329,520	△99,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,006	12,961
為替換算調整勘定	2,436	△323
その他の包括利益合計	△24,570	12,638
四半期包括利益	△354,090	△86,721
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△358,201	△94,121
少数株主に係る四半期包括利益	4,111	7,400

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	1,293,265	540,001	1,316,568	225,238	238,339	163,408	3,776,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	18,201	9,712	－	1,112	29,025
計	1,293,265	540,001	1,334,769	234,950	238,339	164,520	3,805,844
セグメント利益又は損失（△）	14,519	△5,745	△22,006	△15,409	△24,921	△9,614	△63,176

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	△63,176
セグメント間取引消去	△1,135
全社費用（注）	△156,876
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△221,187

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	1,399,674	722,917	1,502,272	249,316	221,404	171,730	4,267,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	13,751	9,245	－	1,208	24,205
計	1,399,674	722,917	1,516,024	258,561	221,404	172,938	4,291,517
セグメント利益又は損失（△）	94,876	7,457	44,426	6,635	△28,849	14,313	138,857

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	138,857
セグメント間取引消去	△1,933
全社費用（注）	△165,918
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△28,994

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する情報

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

「会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法について、従来、定率法（建物を除く）によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より、定額法へと変更しております。この結果、従来の方法と比べて、当第２四半期連結累計期間の「切削機具事業」、「特殊工事事業」、「建設・生活関連品事業」、「工場設備関連事業」及び「ＩＴ関連事業」のセグメント利益はそれぞれ2,959千円、1,573千円、1,230千円、442千円、38千円増加し、「介護事業」のセグメント損失は656千円減少しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性がないため記載を省略しております。

（６）重要な後発事象

平成24年８月９日付で、当社の主要株主である日本鉱泉株式会社が連結子会社である株式会社サンライフ（12月決算）の第三者割当増資に際して30,000千円を払込んだことにより、当社の株式会社サンライフに対する持分比率が 100%から83.3%に低下しました。この結果、第３四半期連結損益計算書に特別利益として持分変動損益31,348千円を計上することとなります。